

小矢部川水系渋江川 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

1. 説明文

- (1) この図は小矢部川水系渋江川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の渋江川の河道および洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により渋江川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、堤防と河道の改修が完了していない地先等、公表時点の河道状況を勘案して想定される複数の破堤箇所を破堤した場合等を想定した一定の条件におけるシミュレーションを行い、これを重ね合わせて最大の範囲を示したものです。
- (4) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川や隣接する河川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

2. 基本事項等

- (1) 作成主体 富山県
- (2) 公表年月日 平成30年11月21日
- (3) 対象となる水位周知河川 小矢部川水系渋江川
(実施区間)
左岸: 小矢部市臼谷(臼谷大橋)から関川合流点まで
右岸: 小矢部市臼谷(臼谷大橋)から関川合流点まで
- (4) 算出の前提となる降雨 渋江川流域の24時間総雨量770mm
- (5) 関係市町村 小矢部市 南砺市
- (6) その他計算条件等
ア) 氾濫計算は、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。
イ) 計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量による数値標高モデル等から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわせない場合があります。
ウ) 連続して大規模に盛土された道路や河川の堤防については、氾濫水を左右することから計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

- 凡例**
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 市町村界
 - ▭ 河川等範囲
 - ▭ 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

位置図



※A0印刷時1:10,000, A3印刷時1:25,000

「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)及び数値地図(国土基本情報)基盤地図情報(数値標高モデル)を使用した。(承認番号 平30情使、第579号)」